

富山市教育委員会会議録

令和4年5月定例会

- 1 日 時 令和4年5月30日(月曜日)  
午後 1時30分 開会  
午後 2時40分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 大会議室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志  
委 員 若 林 啓 介  
委 員 藤 井 久 丈  
委 員 尾 畑 納 子  
委 員 高 田 健
- 4 説明のために出席した者  
事務局長 砂 田 友 和  
事務局次長(総務・社会教育担当) 古 西 達 也  
事務局次長(学校教育担当) 竹 脇 孝 志  
教育総務課長 本 郷 由 佳  
学校再編推進課長 山 口 雅 之  
学校施設課長 高 瀬 雅 基  
学校教育課長 川 端 紀代美  
学校保健課長 宮 前 仁  
生涯学習課長 高 橋 祐 子  
教育センター所長 河 原 弘 幸  
大沢野教育行政センター所長 片 山 尚 之  
民俗民芸村管理センター村長 若 木 佳 之  
図書館長 梅 沢 宗 仁  
科学博物館長 水 高 清 志  
郷土博物館長 坂 森 幹 浩
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員  
教育総務課長代理 余 川 毅  
教育総務課管理係長 河 西 麻里子  
教育総務課主任 廣 岡 洋 子
- 6 傍聴人数 1人

## 7 付議案件

### (1) 議 案

- |        |   |
|--------|---|
| 議案第14号 | 令和4年6月市議会定例会に付議する令和4年度補正予算案に対する教育委員会の意見について |
| 議案第15号 | 工事請負契約締結（和合中学校校舎解体工事）に関する教育委員会の意見について       |
| 議案第16号 | 工事請負契約締結（速星中学校体育館解体工事）に関する教育委員会の意見について      |
| 議案第17号 | 富山市社会教育委員の委嘱について                            |
| 議案第18号 | 富山市公民館運営審議会委員の委嘱について                        |
| 議案第19号 | 富山市民俗民芸村運営協議会委員の委嘱について                      |
| 議案第20号 | 富山市科学博物館協議会委員の委嘱について                        |
| 議案第21号 | 富山市郷土博物館協議会委員の委嘱について                        |

### (2) 報告事項

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 報告事項21 | 令和3年度富山市継続費繰越計算書について          |
| 報告事項22 | 令和3年度富山市繰越明許費繰越計算書について        |
| 報告事項23 | 公益財団法人富山市学校給食会経営状況報告について      |
| 報告事項24 | 「令和4年度富山市中学校1年生学力調査」結果の概要について |

### (3) その他

- |      |   |
|------|---|
| その他8 | 富山市猪谷関所館企画展「富山にもあった！大地震!! 関所番人が綴った『安政の大地震』」 |
|------|---|

## 8 会議の要旨

### 【開会】

- |       |  |
|-------|--|
| [教育長] | 開会を宣言する。<br>本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。 |
|-------|--|

### 【前回会議録について】

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| [教育長] | 4月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。 |
|-------|---------------------------|

[各委員] (意見なし)  
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

#### 【非公開案件について】

[教育長] 議案第14号～16号、報告事項21～23は、6月市議会定例会に付議される案件であるが、市議会への議案説明がまだ行われていない。また、議案第17号～21号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 承認を得られたので、議案第14号～21号、報告事項21～23については非公開とする。

#### 【報告事項24】

[教育長] 報告事項24について事務局から説明を求める。

[学校教育課長] (報告事項24について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[藤井委員] 全体の印象としては国語の点数が悪くなっているということかと思う。データサイエンスなど、これから文系的な要素の中でも色々なデータやインターネットなどを利用してやっていこうとする中で、国語の点数が悪くなっていくことに一抹の不安を感じる。今回の結果から見えてきたことや対策などは考えているか。

[学校教育課長] 今、調査結果をまとめたばかりであるが、事務局でも国語の点数が昨年度から18点も下がっていることに課題を感じている。

今回は、記述により解答する問題や、いくつかの段落から総合的に読み解いて集約して解答する問題など、1回読むだけでは解答できない問題をあえて出題している。

また、文学的文章を出題した年は平均点が上がり、説明的文章を出題した年は平均点が下がる傾向にあるため、色々な影響を分析しなければならないが、まずは、説明的文章の読解力を測るために複合的な解答を求めた問題の解答率の低さに関して、どのような状態なのか、学校現場と共有しながら実態を把握し、対策を打って行きたいと考えている。

[高田委員] 国語の問題番号43～48は無答率が一気に跳ね上がり、20%と5人に1人は回答していないが、どのような問題だったのか。

- [学校教育課長] この問題は、ある2人が投書した2種類の文書を読み、どちらかに賛成か反対かを自分で判断して、最後にまとめた短い作文を書くという問題である。
- 一方は、子どもに話しかけた老人が、無視されたり、不審者と勘違いされ逃げて行ってしまい、こういう世の中でいいのだろうかという投書であり、もう一方は、地域で子どもを育てている中で、子どもと触れ合えるようになり、これからどんどん色々なことをやっていきたいという主婦の方の投書である。
- この2つの投書を読んで、どちらかの投書に賛成又は反対かを1段落目に書き、2段落目にはどのようなことに取り組みたいかを書くという、設問が2段構成で複合的になっているものである。これを無答にしている子が多かったということである。
- 2段落構成で書かれているか、賛成・反対の観点から書かれているかなど、評価の観点がいくつかあるが、無答では評価が付かない。
- [若林委員] 最後の問題には、かなりの時間を配分しなければ解けないのではないかと感じるが、無答率が高かったのは、試験のテクニク的なところもあるのではないか。最初の問題は大急ぎでやって、最後の問題をゆっくりやるというのも試験対策としては必要かと思う。そんなテクニクばかり教えていてよいかどうかは分からないが、何年かすると高校入試があるので、本質的なところではないと思うが、そういったところも指導することは必要かと思う。
- [尾畑委員] このようなスタイルの問題は初めて出題したのか。
- [学校教育課長] 問題を作成した委員が、記述でいくつかの段落を読み解いて答える問題の読解力を測って育成したいと挑戦して作成した問題である。今までは選択肢がいくつかあったが、記述式にしたときの力を測ってみたいという意図である。
- [尾畑委員] 非常によい取り組みだと思う。このような問題に慣れておらず、特に小学校から中学校に入ったばかりで難しかったとは思いますが、このような考え方ができ、また、それを読み解いて自分の考えを表現することは、ぜひこれから育んでもらいたい力の一つだと思う。今回、点数が悪くなった理由がそこにあるとしても、これにめげずに、こういった出題を続けながら、その奥に生まれてくる力に大いに期待したいと思う。
- ぜひ、点数が高い低いではなく、このような出題に取り組み、それに答えられるような教育をして欲しいと考えている。
- [若林委員] 私も今の意見に賛成である。小学校を卒業した直後の子どもには難しい問題だと思うが、こういうことは重要だと思う。ただ、これにじっくり時間をかけて取り組むことが必要だと思うので、その

[藤井委員]

ような指導も必要だと思う。

先ほどの問題に関して、以前であれば、答えが1つや2つあり、すぐに答えることができたが、どれを取っても正解となり得る場合、最近の子どもたちは、答えを決めかねて書けないということもあるのではないか。

一方で、点数ということを考えると、そろそろこの年代には試験リテラシーというものを教えていくべきなのかどうか。何でもいいので正解になりそうな答えを書くように指導していくことも必要なのか、点数とは関係なく、自分の気持ちを表現することを教えていくべきなのか、悩ましいところである。

そもそも、高い点数を取らなければいけないというのが教育のあり方として正しいのかどうか。そうは言っても、今の日本の世の中、点数も大事なので、正解になるような答えを書くように指導するのかよいかどうか。要領を得た子は100点を目指すやり方を早いうちに覚えてしまう。

この問題作成にあたって、教員がどのようなことを目指し、どう子どもたちに教えるかというのがあると思うので、考えていただきたい。

[教育長]

これからの社会では、答えが一つではない様々な課題が生じてくると思う。それぞれの答えに一長一短あるので、相互に議論しながら、納得解を見出していく教育が大切になっていくと思う。

従来の正しく知識や技能を身に付けて解答する一方で、それらをどう使いながら物事を判断していくのか、そういった議論をしながら学習していくことが必要だと考えており、機会あるごとに教員に伝えている。

今回のテストの中でも、従来から一步踏み出し、そのような子どもたちの資質・能力を測ることが目的としてあるので、今後もこのような傾向の問題も中1、中3の学力調査の中で取り入れていきたいと考えている。

また、今回の結果をしっかりと学校に返し、足りなかった部分についてはしっかりと補い、また小学校で身に付けるべき学力ということもあるので、合わせて指導していきたいと考えている。

## 【その他8】

[教育長]

その他8について事務局から説明を求める。

[大沢野教育行政センター所長]

(その他8について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[尾畑委員] 館長の解説は定期的に行っているのか。  
[大沢野教育行政センター所長] 館長による解説会は6月4日を予定しているが、それ以外の日でも館長の都合が合えば、解説を行うことは可能である。  
[尾畑委員] 大地震は、今話題のテーマなので機会があればぜひ聞いてみたい。来館者が増えれば良いと思っている。  
[教育長] 夏休み中も開催しているので、ぜひご家族で来館して欲しい。

[教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。  
[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

#### 【議案第14号】※非公開案件（5月30日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第14号について事務局から説明を求める。  
[教育総務課長外] （議案第14号について説明）  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[若林委員] 子育て世代に対する学校給食費の負担軽減について、今年度から給食費を上げたと思うが、実質的には上げを1年間遅らせる効果があるのか。  
[学校保健課長] 負担軽減により引上げ前と同じ金額となる。現在の社会情勢を鑑み、子育て世代は様々な負担があると思うので、有利な財源を活用して、引上げ相当分を補助したいと考えている。  
[古西事務局次長] 今年度、国からコロナ対策の臨時交付金として市全体で11億円が交付されており、この活用先として、給食費の高騰についての補助が新たに追加された。この財源を活用したいと考えている。  
[若林委員] 資料には令和3年度と令和4年度の差額と記載されているので、保護者からすれば、本来引上げしなければならないものが、1年間先送りされたという感覚かと思う。そうすると、交付金により支援されたということが明確にならないのではないかと思う。その点が説明されるのかどうか、気になったところである。  
[学校保健課長] 今回の補助金は、学校給食会に対して補助するものであるが、給食費を上げた理由は、食材の高騰により調達資金が不足するため

であり、全体の調達費用は増加している。そのことにより、子どもたちに必要な給食を提供することができる。

[若林委員] 受益者である保護者がそういう認識を持つか心配である。単に引上げが1年先送りになるという感覚だと、来年度また、どうして引上げるのかという話になる。

[教育長] 結果的には引上げはされていないが、本来は必要があったものであり、国の交付金の趣旨やそれを活用しているということをしつかりと説明していきたいと思う。

[教育長] 採決を行う。議案第14号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第14号については意見なしとする。

#### 【議案第15号、16号】※非公開案件（5月30日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第15号、16号について事務局から一括して説明を求める。

[学校施設課長] （議案第15号、16号について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 採決を行う。議案第15号、16号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第15号、16号については意見なしとする。

### 《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

#### 【議案第17号～21号】※非公開案件

[教育長] （議案第17号～21号について事務局から説明を求める。）

[生涯学習課長外] （議案第17号～21号について説明する。）

[教育長] （議案第17号～21号についての採決について、各委員に諮る。）

[各委員] （議案第17号～21号について同意する。）

[教育長] （議案第17号～21号について、原案のとおり可決したことを報告する。）

**【報告事項 2 1】 ※非公開案件（5月30日時点、議案説明会開催前）**

[教育長] 報告事項 2 1 について事務局から説明を求める。  
[学校施設課長外] (報告事項 2 1 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

**【報告事項 2 2】 ※非公開案件（5月30日時点、議案説明会開催前）**

[教育長] 報告事項 2 2 について事務局から説明を求める。  
[教育総務課長外] (報告事項 2 2 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

**【報告事項 2 3】 ※非公開案件（5月30日時点、議案説明会開催前）**

[教育長] 報告事項 2 3 について事務局から説明を求める。  
[学校保健課長] (報告事項 2 3 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。  
[各委員] 質問等なし。

**【閉会】**

[教育長] 閉会を宣言する。